

週報



<テーマ> 違いの中にキリストを告白する群れ
～ 響き合う礼拝とひろば ～

<年間テーマ> 希望の主と共に歩む

<聖句>ローマの信徒への手紙15章13節

希望の源である神が、信仰によって得られるあらゆる
喜びと平和とであなたがたを満ちし、聖霊の力によって
希望に満ちあふれさせてくださるよう。

◀神戸教会は2020年に宣教開始70周年を迎えました。▶

「塩で味つけられた言葉」

かつて、日本の首相を務めた政治家が「日本は単一民族だから教育水準が高い」という発言をして問題になったことがありました。この発言は明らかな間違いなのですが、同じ趣旨の発言がその後も繰り返されています。私たちの心のどこかに「同じ」ことは良いことという思いがあるのでしょうか。教会でも「同じ思いになって」「皆で一つになって」という言葉は良いこととして語られます。確かに、「単一民族発言」と「一つになって」には根本的に異なる部分があります。それは、異なる者を排除するか、異なる者と一つになるという違いです。しかし、後者も一歩間違えると、異なる者の排除につながります。

私たちが忘れてならないこと、それは、私たちは一人ひとり異なったユニークな存在だということです。異なる者を排除する心は、一人ひとりのユニークさを押さえつける力にもなります。

パウロは、教会を「キリストの身体」と語ります。身体が様々な部分から成っているように、多種多様な個性と賜物を持った人々が、結び合わされ、キリストの身体になるとパウロは記しています。一人ひとりのユニークさを尊重しつつ、キリストの身体となるためにパウロは「愛」の大切さを説きます。そして、「愛」の実践の一つとして相手への思いやりを持った「塩で味付けされた快い言葉で語りなさい」とパウロは記すのです。 【中田義直】

日本バプテスト連盟 神戸バプテスト教会 牧師 西脇慎一

〒650-0003 神戸市中央区山本通1-7-27 TEL078-231-7187 FAX078-221-5252

ホームページ: kobe-church.com 事務局Eメール: jimukyoku@kobe-church.com

主日礼拝	毎日曜日	午前10:30~11:45
共育のひろば	毎日曜日(第3週除く)	午前11:45~12:40(次回は7/10です)
	(幼児クラス・小学生クラス・中高生クラス・成人クラスA・B・C)	
幼稚園C・S	毎日曜日	午前9:00~10:20(6/26 7/3,10 予約制)
ひまわりひろば	毎日曜日	午前9:00~10:20(6/26 7/3,10 予約制)
月曜ひろば	第1・3月曜	午前9時半~11時(次回は7/4)
祈祷会	毎水曜日	午後7:00~8:15
	第2・4水曜	午前10:30~12:00(当面お休みです)

教会についてのお問い合わせ、バプテスマの希望や他教会からの転入など、
ご相談のある方は牧師、又は教会事務局までご連絡ください。

◆朝 10 時と夜 8 時に共にお祈りの時を持ちましょう。

- 1、新型コロナウイルス感染症が一刻も早く収束に向かいますように。
- 2、感染した方々の癒しとご家族の守りと、緊張とストレスの中、診療に当たられている医療従事者を始め、福祉職の方々、人々の日常生活を支えている多くの方々の守りのために。
- 3、コロナ禍で経済的な困難の中にいる個人事業主、非正規雇用の方々の守りのために。
- 4、子どもたちの心の守りと成長の祝福。そしてご家庭の守りのために。
- 5、光の丘幼稚園の園児・保護者・教職員の守りのために。主の守りと導きをお祈りください。
- 6、困難の中にいる方々と共に生きるすべてのキリスト教会と信徒の信仰生活の守りのために。
- 7、ミャンマー、イスラエルとパレスチナ、アフガニスタン、ウクライナとロシアの市民のいのちと守りのために。すべての人々のいのちが尊重される自由と平和が実現しますように。
- 8、新たな牧師招聘のために、また牧師招聘委員会の働きのために。(アンケートにご協力ください)
- 9、新会堂建築計画の守り。会堂建築委員会のお働きのために。
- 10、これからの神戸教会のために。教会員が共に語り合い、主の御心を求めることができますように。

【連盟・連合・他教会の祈り】

- ◆日本バプテスト連盟の全国 316 の教会・伝道所のために。特に連盟の機構改革のために。連盟臨時総会 (6/23) が行われ、天城山荘の売却が総代議員数 602 の内、賛成 406 票、反対 117 票、保留 73 票、白票 5 票、無効票 1 票で可決されました。
- ◆関西地方教会連合の 36 教会のために。特に無牧師の神戸新生、奈良、浜甲子園、鳥取。休会中の神戸国際、大阪旭のためにお祈りください。

交読「感謝・賛美」 100 編より

全地よ、主に向かつて喜びの叫びをあげよ。

喜び祝い、主に仕え、喜び歌って御前に進み出よ。

知れ、主こそ神であると。主はわたしたちを造られた。

わたしたちは主のもの、その民、主に養われる羊の群れ。

感謝の歌をうたつて主の門に進み、賛美の歌をうたつて主の庭に入れ。

感謝をささげ、御名をたたえよ。主は恵み深く、慈しみはとこしえに、

主の眞実は代々に及ぶ。

